

最初に確かめること

この時間がここにいるすべての人にとって価値あるものにするために

2年文系「科学と人間生活（2単位）」
「生物基礎探究（1単位）」 01
()組()番
氏名()

- 今日の目標 (1) 一年間の「活動の前提」「科目の目的」「活動内容」「活動指針」を確認する
(2) 「チーム」を決める（次回に継続）

- 活動の前提 授業における活動は、次のことを前提としていますので確認してください。
- ・今年度の隠岐島前高校のスローガンは”（凡事徹底を継承しつつ）前傾姿勢一前へー”である
 - ・大切にすることは「凛・志・絆・SINKA一親化・進化・新化・深化・神化・真価」である
 - ・教育活動の3つの柱は「個別化」「協働化」「プロジェクト化」である
 - ・目指す学びは「主体的な学び・対話的な学び・深い学び」である
 - ・社会の基本は「一人も見捨てない No one will be left behind.」である

- 科目の目的 「科学と人間生活」でめざすこと
- ・身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会に対して、科学的な見方や考え方をもち関わるができるようになる。
- 「生物基礎探究」でめざすこと
- ・身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会に対して、生物基礎の知識や考え方をもち関わるができるようになる。

- 活動内容 「科学と人間生活」として、次の(1)または(2)、あるいは両方について取り組む
- (1) 「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」について、可能な限り現地を訪れ、具体的な題材を取り上げて、(初めての経験する人のための)ガイドブックを作成する。
 - (2) 日常生活の中に見られる「不思議」や「謎」について、それがどのようなものであるか、を科学的に説明できる、解説書を作成する。
- 「生物基礎探究」として、(1)(2)の順に取り組む
- (1) 昨年度学んだ「生物基礎」の知識が、ヒトとしての自分、日常生活や社会とどのようにつながっているか(知識を活用できるか)を調べ、レポートを作成する。
 - (2) (1)で扱った「ヒトとしての自分、日常生活や社会」の中で見られる「不思議」や「謎」について、さらに深く調べ、レポートを作成する。

- 活動指針 次のことを意識して、チームの活動、学びの主体者としての「あり方」を確かめ合ひましょう。
- <大きな柱>
- ・チーム「2年文系」として、この授業で大切にすることは何か(共通性；共通の規範)
 - ・一人一人の学びを大切にするにはどうすればよいか(多様性；個別性の尊重)
- <授業としての条件>
- ・活動に具体的で明確な「目的」「目標」がある
 - ・長期的、短期的な「計画」がある
 - ・活動に対する「自己評価」「他者(同僚)評価」がある
- <期待すること>
- ・上記の「前提」をもつ誰が見ても、「納得のいく」活動であった
 - ・1年間の活動としての「結果(成果)」を示せた

- 当面の課題 5月末までに、
- ・「科学と人間生活」で「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」に関するガイドブックを1つ作成する。
 - ・「生物基礎探究」で(1)に関するレポートを2つ作成する。

- 評定算出 評定を出すための材料
- チームとしての提出物=取り組みの記録・レポート